

諏訪市中洲神宮寺在住のイラストレーター、谷沢信憲さん(84)が描いた地元の懐かしい原風景や諏訪大社上社の神事などのイラスト、ペン画作品展が22日、上社東参道沿いの柏屋カフェ&ギャラリーで始まる。地元の住民でつくる上社周辺まちづくり協議会(小島実会長)が主催し、物語本の挿絵や会報の表紙絵の原画12点を展示する。23日には谷沢さんが作品解説、30日には物語本の著者、小松郁俊さん・神宮寺との対談会も催す。入場無料、30日まで。谷沢さんは少年時代に子ども

懐かしい原風景や 上社の神事を描く

諏訪の柏屋 谷沢さん作品展



も向け雑誌の挿絵を夢中で模写し、以来今日まで絵筆を執り続けている。1970年から約20年間、南信毎日新聞(現長野

日報)に4コマ漫画「ナンさん」を連載、地域の同人誌や会報の表紙絵やご当地マップの制作などを手掛け、文芸作家の顔も持つマルチな創作家だ。展示は数多い作品の中でも神宮寺、上社にちなむものを厳選し、小松さんが昨年出版した本「諏訪の物語」に寄せた挿絵9点と風景、風物のペン画3点を飾った。挿絵は澄んだ色彩が鮮やかで、「著者小松さんのユーモアと人情味があふれる作風を大事にし、

「気軽に楽しんで」と話す谷沢さん

諏訪の自然や歴史を絵で残したい思いで描いた「谷沢さん」という温かく、時にコミカルなタッチが見る人の笑みを誘う。ペン画は繊細で緻密な線描に谷沢さんの制作の原点が垣間見える。

個展にあたり「イラストは軽やかに楽しむもの。訪れる人たちが和んでくれたら」と話している。展示は午前10時〜午後5時。23日の解説、30日の対談はいずれも午前10時30分から。入場無料。問い合わせは小島会長(電話0266・533・6168)へ。

(日比野真由美)